

学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.7 平成29年1月10日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

〇11月25日(金) 医療講演会13:30~15:30 会場:本校社会科教室
講師:柴山純一先生(新潟医療福祉大学教授)・演題:『医療事故を防ぐリスクマネジメントの考え方』
今回は医療専攻2年生の今年度の最終講演会でした。医療の暗くて重い問題点について御講義いただくとともに、グループワークも御指導いただきました。休憩なしの活気に溢れた120分間でした。



【情熱溢れる柴山先生・注射器の実演】



【グループディスカッション】

11月25日(金) 当日の流れ:
13:30~15:10 講義(グループディスカッションを含む)
15:10~15:30 質疑応答

【講義内容】

① 映画『ハッピーフライト』からの演習

- I 「なぜ飛行機は事故を起こしたのか」
- II 安全への関心
- III 医療における安全管理意識(医療事故)
- IV 事故が起こる要因
- V 医療における安全管理意識(対策)
- VI アクシデントとインシデント
- VII 医療事故情報報告件数の推移
- VIII 事故を防ぐ考え方
- IX リスクマネジメントとは
- X 事故を防ぐ(情報システム)

② 患者さんへの投薬(グループディスカッション)

③ まとめ・・・

- I 事故が起こる要因・・・「人間」「環境」「組織」
- II アクシデント＝事故 インシデント＝潜在的(外から見えない)、ニアミス、「ヒヤリ・ハット」
- III ハインリッヒの法則 1:29:300 1件の重大災害・29件の軽少事故・300件の潜在的ニアミス
- IV ドミノ理論とインシデント分析「不安全行動・状態」をなくす 記録と分析の重要性
- V 危険・リスク・ハザード
- VI なぜリスクマネジメントが必要か・・・安全の確保・質の保証・組織損失の最小化
- VII スイスチーズモデル・・・穴の有無を監視し、発見したらすぐにふさぐことの重要性



【熱心に受講する2年生12名】

【生徒の感想】

「手術をされる患者さんの取り違え」・「医療事故」と聞いて、内心、恐怖心でいっぱいでした。しかし、内容はわかりやすく、とても充実した講演でした。事故が起きてしまう要因として、ひとつひとつの小さな間違いの重なりや、多忙によるミス、思い込みなどがあると聞き、普段の私達でも同様だと感じました。また、その発端としての、「アクシデント」と「インシデント」についても教えていただきました。今回、特に感心したことは「ヒヤリ・ハット」です。一瞬でも気を抜けば、誰でも「ヒヤリ・ハット」は起きうるということでした。医療人として、これを常に頭に入れて、忘れてはならないと思いました。 (2年生女子生徒・理学療法士志望)

今回の講演会では、医療事故がどのようにして起こるのかを学びました。一人の独自判断で行動してしまうと事故の原因になって大変なことになってしまうので、「ダブルチェック」が必ず必要だと思いました。1999年横浜市立大学付属病院での患者取り違え事故では、同時刻に2人の患者を1人の看護師が運んだことが問題でした。この点は、看護師不足が大きな原因だと思いました。また、手術中に違和感を感じたスタッフがいたなら、中断するべきだったと思いました。医療事故が起こる一番の原因は「思い込み」であること、また、意識・健康・知識・技術・環境など、いろいろな要因があることも分かりました。医療事故を防ぐためには、医療関係者の体調管理が大切だと思いました。また、医師や看護師の夜勤などの負担が重くなったりすると、完璧な体調で治療ができなくなるので、医師・看護師不足を早急に解消する必要があると思いました。 (2年生女子生徒・助産師志望)

何においても事故というものは起こりがちですが、医療現場では、間違いが重なって重大な事故が起き、「多忙」は医療事故を誘発する原因になり、「思い込み」や「コミュニケーションエラー」も医療事故の原因となり、「業務の分業化」はミスを誘発するということを学びました。また、患者さんの認識を信頼しすぎることも、原因の1つで、現在は、ID番号・患者識別バンドで、照合確認をして事故を防いでいるそうです。高校1年の保健の授業でも学んだ「ハインリッヒの法則」のお話がありました。重大事件が1件発生したときには、その陰では、軽少事故が29件起きており、「ヒヤリ・ハット」が300件起きているという法則です。インシデントの分析・リスクの管理・スイスチーズモデルの柱をしっかりと立てることが大切だと、理解できました。 (2年生女子生徒・臨床検査技師志望)

平成28年度 「第4回医療専攻発表会」 御案内

- 1 目的： 「医療専攻」第4期生として、1年生～2年生の医療専攻プログラムを通して学習したこと・考えたことを各人が発表し、将来、医療従事者として活躍する決意を新たにします。
- 2 日時・場所： 平成29年3月27日(月) 新潟西高等学校
第1部 13:00～14:40 視聴覚教室(特別教室棟4階)
第2部 14:50～15:30 社会科教室(特別教室棟3階)
- 3 内容： 第1部 パワーポイントを使っての生徒12名の口頭発表会(100分)
挨拶・御紹介等10分 + 発表60分(5分×12人) + 講評30分
第2部 ポスターセッション(40分)
- 4 参加者： (講評) 新潟大学医学部保健学科 看護学専攻 有森 直子 教授
(発表) 2年生学励コース医療専攻生徒 12名
(招待) 発表者の保護者、今まで講演・見学を依頼した大学及び病院の関係者、「医療専攻たより」を発送している中学校関係者、本校PTA役員・後援会役員・学校評議員、報道各社をお招きして実施します。